

平成26年10月10日

平成26年度（第68期）司法修習生採用内定者 殿

司法研修所事務局長

司法修習生の兼業について（事務連絡）

司法修習生は、修習期間中、修習に専念すべき義務を負っており、最高裁判所の許可を受けなければ、公務員となり、又は他の職業に就き、若しくは財産上の利益を目的とする業務を行うことができないとされ、兼職・兼業が原則として禁止されています（裁判所法67条2項、司法修習生に関する規則2条）。

この点、司法修習生の兼業の許可について、平成25年6月26日、政府に設置された法曹養成制度検討会議の最終取りまとめにおいて、法の定める修習専念義務を前提に、その趣旨や司法修習の現状を踏まえ、司法修習生の中立公正性や品位を損なわないなど司法修習に支障を生じない範囲において従来運用を緩和し、司法修習生が休日等を用いて行う法科大学院における学生指導をはじめとする教育活動により収入を得ること（以下「対象業務」という。）を認めるべきとの提言がされ、同年7月16日に開催された法曹養成制度関係閣僚会議において、上記最終取りまとめを是認する内容の決定がされました。

そこで、最高裁判所において、こうした状況等も踏まえて兼業許可の在り方について検討した結果、対象業務については、事例ごとに個別具体的な事情を確認する必要があるものの、その業務内容に照らし、休日等に行う限りにおいては、許可しても差し支えない場合が多いと考えられることから、この点に関するこれまでの取扱いを緩和しています。

については、司法修習中に対象業務を行おうとする場合には、別添の申請書式を利用するなどして、兼業許可申請書を司法研修所事務局企画第二課調査係宛てに提出する

方法（ただし、配属庁会における実務修習中はその配属庁会の司法修習事務担当者宛てに提出する方法）により、最高裁判所に許可の申請をしてください。

なお、許可の判断にはある程度の期間を要するため、兼業の許可が必要な場合には、余裕を持って申請してください。

## 兼業許可申請書

最高裁判所 御中	申請人	住所	〒 _____		
		電話	( ) _____		
平成 年 月 日	ふりがな		修習地	組	番号
	氏名				印

添付書類	<input type="checkbox"/> 求人票写し	<input type="checkbox"/> 労働条件通知書(案)写し又は契約書(案)
	<input type="checkbox"/>	

下記の内容について、兼業の許可を申請します。

なお、兼業が許可された場合は、業務に従事するに当たり、修習専念義務を遵守することを誓います。

1 雇用主	住所	〒 _____ 電話 ( ) _____
	名称	
2 業務内容等	<input type="checkbox"/> 講義・ゼミの講師 <input type="checkbox"/> 教材作成 <input type="checkbox"/> 答案添削・採点 <input type="checkbox"/> その他( ) (具体的な業務内容・業務量等を記載してください。)	
3 雇用条件等	<input type="checkbox"/> 雇用期間 <input type="checkbox"/> 平成 年 月 日(□許可され次第) ~ 平成 年 月 日まで <input type="checkbox"/> その他(具体的な雇用期間等を記載してください。)	
	<input type="checkbox"/> 従事場所 <input type="checkbox"/> 上記1の雇用主住所に同じ <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> その他(具体的な従事場所等を記載してください。)	
	<input type="checkbox"/> 業務従事時間等 <input type="checkbox"/> 休日のみ <input type="checkbox"/> 平日のみ <input type="checkbox"/> 休日・平日の両方 (具体的に業務に従事する(見込みの)曜日・時間等を記載してください。)	
	<input type="checkbox"/> 報酬 1か月当たりの報酬(見込み)額 _____円 <input type="checkbox"/> 時給 _____円 <input type="checkbox"/> 日給 _____円 <input type="checkbox"/> 答案添削・採点等の場合 <input type="checkbox"/> その他(具体的な事情等を記載してください。)    1通当たり _____円	

※ この申請書に書ききれない場合には、適宜「別紙」を利用するなどしてください。

※ 許可の判断には、ある程度の期間を要するため、雇用の開始までに十分な余裕を持って申請してください。

## 兼業許可申請書(記載例)

最高裁判所 御中 平成××年××月××日	申請人	住所	〒100 - 0013 東京都千代田区霞が関1-1-4 第一マンション331号 電話 090 (××××) ××××			
		ふりがな	この たろう	修習地	組	番号
		氏名	甲野太郎 印	東京	×	××

添付書類	<input type="checkbox"/> 求人票写し <input checked="" type="checkbox"/> 労働条件通知書(案)写し又は契約書(案) <input checked="" type="checkbox"/> 「答案添削の依頼について」と題する依頼書
------	---

下記の内容について、兼業の許可を申請します。

なお、兼業が許可された場合は、業務に従事するに当たり、修習専念義務を遵守することを誓います。

1 雇用主	住所	〒××× - ×××× 東京都〇〇区〇〇1-1-1 電話 03 (××××) ××××
	名称	〇〇大学法科大学院
2 業務内容等	<input type="checkbox"/> 講義・ゼミの講師 <input type="checkbox"/> 教材作成 <input checked="" type="checkbox"/> 答案添削・採点 <input type="checkbox"/> その他( ) (具体的な業務内容・業務量等を記載してください。)	
	法科大学院生が作成した答案(月平均)××通程度の添削・採点	
3 雇用条件等	雇用期間	<input type="checkbox"/> 平成××年××月××日(☑許可され次第)～平成××年××月××日まで <input type="checkbox"/> その他(具体的な雇用期間等を記載してください。)
	従事場所	<input type="checkbox"/> 上記1の雇用主住所と同じ <input checked="" type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> その他(具体的な従事場所等を記載してください。)
	業務従事時間等	<input type="checkbox"/> 休日のみ <input type="checkbox"/> 平日のみ <input checked="" type="checkbox"/> 休日・平日の両方 (具体的に業務に従事する(見込みの)曜日・時間等を記載してください。) 基本的には休日に1日×時間程度。ただし、請け負った業務量によっては、平日も修習終了後×時間程度、翌日の修習に支障のない範囲で従事する場合もありうる。
	報酬	<input type="checkbox"/> 1か月当たりの報酬(見込み)額 <u>    ××, ×××    </u> 円 <input type="checkbox"/> 時給 <u>          </u> 円 <input type="checkbox"/> 日給 <u>          </u> 円 <input checked="" type="checkbox"/> 答案添削・採点等の場合 <input type="checkbox"/> その他(具体的な事情等を記載してください。)      1通当たり <u>    ×, ×××    </u> 円

※ この申請書に書ききれない場合には、適宜「別紙」を利用するなどしてください。

※ 許否の判断には、ある程度の期間を要するため、雇用の開始までに十分な余裕を持って申請してください。